

| | | |
|-----------|--|---|
| 科目名 | 刑事訴訟法Ⅱ | |
| 担当者 | 杉山 和之 / SUGIYAMA, Kazuyuki | |
| 科目情報 | 法律 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 3年次 | |
| 科目概要 | 授業内容 | 刑事手続の流れや基本原則について学ぶ。刑事訴訟法Ⅱでは特に公判段階と証拠法について解説をする。 |
| | 到達目標 | 捜査段階の場合と同様である。刑事手続における基本原則を学ぶことによって、不当な訴えによる裁判から身を守らなければならない。そのための知識を身に付ける。 |
| 授業計画 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 公判段階 (2) 起訴便宜主義 (3) 起訴状一本主義 (4) 公判前整理手続 (5) 訴因と公訴事実の同一性 (6) 訴因の変更 (7) 訴訟能力 (8) 厳格な証明と自由な証明 (9) 違法収集証拠排除法則 (10) 自白法則 (11) 伝聞法則 (12) DNA 鑑定 (13) 上訴 (14) 再審 (15) まとめ | |
| 自学自習 | 事前学習 | ニュースや新聞などに注目する。 |
| | 事後学習 | 授業で取り上げた内容を身近なものとして常に意識する。 |
| 使用教材・参考文献 | <p>【教】加藤康榮『刑事訴訟法（第2版）』（2012年法学書院）。さらに、講義前に毎回プリントを配布する。</p> <p>【参】ポケット六法（有斐閣）、デイリー六法（三省堂）など。</p> | |
| 成績評価方法と基準 | 定期試験の結果で判定する。 | |
| 備考 | 質問などがあれば、いつでも受け付ける。授業後、学校外、メールなどによる質問の受け付けも常時行う。 | |